

神戸学院大学 第2次中期行動計画 中期計画(第3層) 2022年度達成度評価表 分野:学生支援

		評価	理由
中期目標	学生の成長を支える総合的な学生支援を実施します。		
中期計画	1 学生生活支援の充実	C	学生が相互に支援を行うピア・サポート制度については、ピア・サポーターの増員によって、両キャンパスにおける企画やミーティング、他大学との交流会等、積極的な活動が実現しており、評価できる。また、心理学部においては、新入生、在学生在が抱える心理・生活・修学に関わる問題点について情報収集し、教授会で情報共有することが実現されており、評価できる。他方、学生の健康管理については、コロナ禍で大きく減少していた健康診断の受診率が回復したものの、依然として目標受診率には届いていないため、健康管理の重要性を改めて周知するとともに、医務室等とも連携して学生の健康的な生活の実現につなげることが望まれる。
	2 修学支援の充実	C	ウィズコロナ時代における修学支援のための情報収集や学内における情報共有が少しずつ進んでいる。学部によっては、留年者や退学者の動向と成績の関係を調査することで、客観的な状況把握ができており、修学支援体制の基盤が作られている。一方で、共通教育実習系科目におけるeラーニングシステムによる補講実施率の向上といった課題を認識しながら、未だ具体的な解決に至っていないため、具体的な対策が望まれる。引き続き、具体的な修学支援及び退学防止体制の強化については、学生支援センターや学生の未来センターが協力しながら、学部・研究科及び部署と協働し、より一層推進することが望まれる。
	3 安全で快適なキャンパス環境の充実	B	学生アンケートの結果に基づき、学生の意見を反映した学内環境の整備を進めていることは評価できる。緊急性の高い事項から整備を実施し、快適性や利便性の向上に関する事項についてはキャンパス整備基本計画と照らし合わせながら進めることができています。また、危機管理意識や社会生活におけるマナー遵守については、啓発と防止に努めており、トラブルの発生数や学生アンケートにおけるトラブルに関する回答が年々減少していることも、評価できる。今後も、学生の安全性と快適性に配慮したキャンパス環境の整備が進むことを期待する。

神戸学院大学 第2次中期行動計画 中期計画(第3層) 2022年度達成度評価表 分野:学生支援

		評価	理由
中期目標	学生の成長を支える総合的な学生支援を実施します。		
中期計画	4 障がいのある学生への支援	B	障がい学生支援ガイドラインを策定し、学生及び教職員への啓発が進んだことは評価できる。また、一部の学部において、新入生(場合によっては入学前から)及び在学生の状況について学生支援グループと連携して情報収集と対応に当たっている点も評価できる。2023年度以降は、ガイドラインに沿ったガイドブックの作成や講演会等の実施などを通して、さらなる啓発を期待するとともに、学生のニーズや時代背景に応じた新たな支援の検討を推進していくことが望まれる。
	5 課外活動の奨励と支援	B	課外活動団体の幹部向けの研修については、受講対象団体に独立団体を加え、より多くの団体が受講できるようになった。これまでと同様のリーダーシップやチームワーク醸成を目的とするほか、オンライン会議の運営方法も研修内容に加える等、工夫している点が評価できる。今後さらなる充実に向けた検討が望まれる。また、技術指導者制度について、セミナーや研修の案内を配信し、スキル向上を促すことができている。今後は、ほぼすべての育成クラブが利用している同制度について、実態に基づいた見直しが進むことを期待する。
	6 キャリア支援の強化	B	学内合同企業説明会については、学生の就職活動に対する行動態様等に基づき参加企業の見直し及び検証を行うとともに、参加学生数の増加や新たな企業との接点強化を視野に入れた実施ができている。また、学内企業研究会については、学生と企業が接する機会の早期化に対応するため開催時期を例年に比べて早めており、よりニーズに対応した開催が実現できている。あわせて、学生に対するキャリア支援強化へ向けて、職員による自治体や企業主催の企画への参加や企業訪問などを通して、自治体や企業との連携を強化に努めることができている。さらに、一部の学部においては、学部にマッチした企業の情報収集と企業への働きかけにより、学部学生のニーズに沿ったインターンシップを実施しており、評価できる。今後も、全学的な学生のニーズに応じたキャリア支援を期待する。

評価 S:目標よりはるかに上回る、A:目標をやや上回る、B:おおむね目標どおり、C:目標をやや下回る、D:目標をかなり下回る